

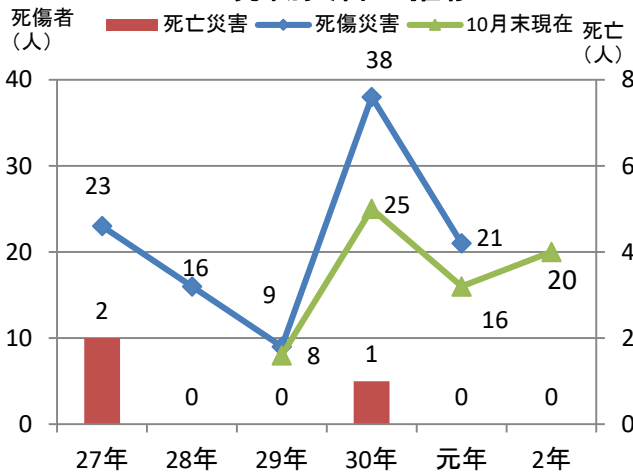
新聞販売業の労働災害発生状況

新聞販売業の労働災害（休業4日以上）の死傷災害「以下同じ」は、平成29年の9人から平成30年の38人と急増し、令和元年は21人と減少しましたが、令和2年は10月末現在で20人と平成30年に迫る勢いで再び増加しています。

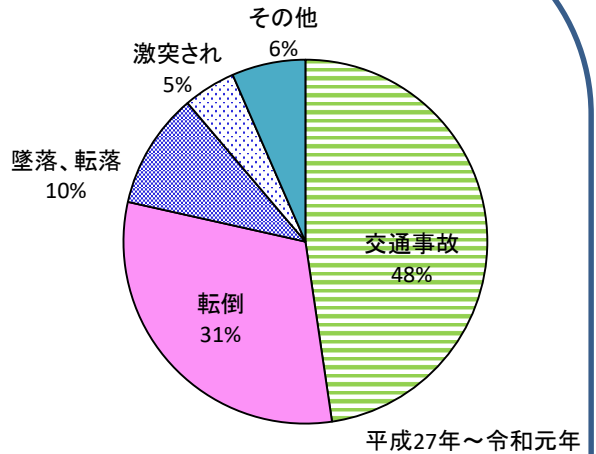


- ・労働災害の**9割超**が、配達中に発生している。
- ・事故の型は、**48%**が交通事故、**31%**が転倒災害で、この2種類の型で全体の**約8割**を占めている。
- ・交通事故の**76%**がバイクでの配達中である。
- ・転倒災害は徒歩が**58%**、バイクが**30%**を占めている
- ・月別では、寒い時期や雨の多い時期に多く発生している。
- ・年齢別では、60歳代が**41%**、70歳代以上が**32%**で、60歳以上は、**7割超**となっている。
- ・経験年数別では、5年未満が**4割超**となっている。

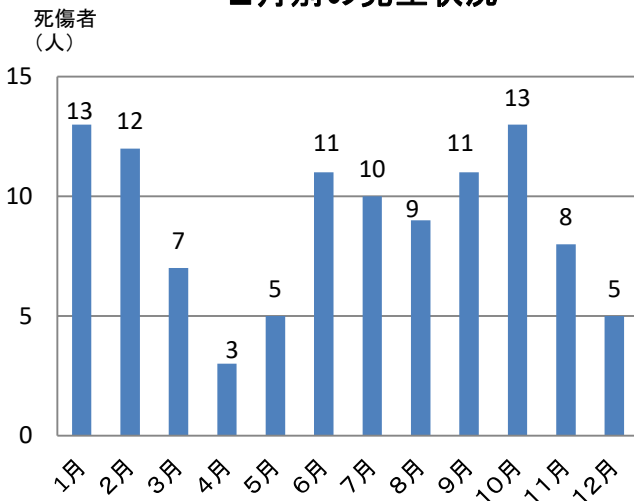
労働災害の推移



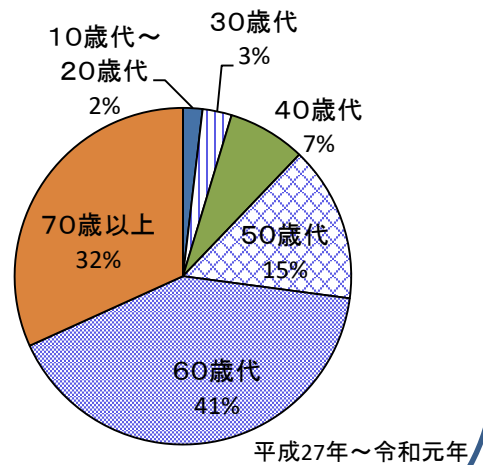
事故の型別発生状況



月別の発生状況



年齢別発生状況



資料：労働者死傷病報告（休業4日以上）。



【配達中の交通事故、転倒災害を防ぎましょう！】

1 バイク運転中、又は歩行中の交通労働災害を防ぐために

- ① 運転者は**スピードの出し過ぎ**に注意し、カーブでは十分に減速しましょう。
- ② 車両のタイヤは、**路面の状況に合ったもの**を使用しましょう（スタッドレスタイヤ等）。
- ③ 運転者は**車間距離を十分**にとりましょう。
- ④ 運転者は日の出前や薄暮の時間帯に限らず、日中でも**ライトを点灯**しましょう。
- ⑤ 運転者は朝刊配達時間帯など交通量が少ない場合でも、**一時停止等の交通ルール**を必ず守りましょう。
- ⑥ 運転時及び歩行中は**蛍光・反射シールの貼付、蛍光・反射ベスト**を着用するなど、他の者が認識しやすい目立つ服装を心がけましょう。
- ⑦ 配達経路を事前に点検して、危険な箇所を洗い出して**危険情報マップ（新聞配達ヒヤリマップ）**を作成し、危険を予測した運転、行動を行いましょう。

2 配達、集金中の転倒災害を防ぐために

- ① **滑り止めのある靴**を着用しましょう。また、靴は自分の足に合ったサイズのものを使いましょう。小さすぎる靴では足指が動かしにくく、バランスを崩したときに足の踏ん張りが効かなくなります。逆に大きすぎる靴では歩行のたびに足が前後斜めに動いて、靴のつま先やかかとが足の動きに追従できなくなります。
- ② 時間に余裕のある配達計画を立てて、**慌てず、急ぐときほど落ち着いて**足元に注意して歩きましょう。また、**滑りやすい場所では小さな歩幅**で歩きましょう。

3 その他

高齢者の特性にも十分に配慮し、うっかり、ぼんやり、思い込み、ルール無視等の**不安全行動を排除**するため、定期的に安全教育を行いましょう。



災害事例

事故の型	性別	年齢	休業見込み	災害の概要
交通事故	男	74	12ヶ月	路面が凍結したゆるい左カーブの下り坂を、軽自動車で行き中にスリップし、橋の手前より川に転落した。
	男	84	3ヶ月	配達のため車を止めサイドブレーキを掛けず降りるときに車が動き出し、車体とドアの間に挟まれる状態でブロック塀に衝突した。
	男	55	3ヶ月	配達のためバイクで行き中に、野生動物が飛び出てきて衝突し転倒した。
転倒	女	75	1ヶ月	徒歩で配達中、玄関タイルが凍結していたため滑って、転倒した。
	男	79	1ヶ月	配達のため、バイクに乗りスタートするときに突風が吹きバイクごと転倒した。
	男	77	3ヶ月	配達のため、駐車場入り口のチェーンを乗り越えて行く時に、チェーンに足が引っ掛かり転倒した。
転落	女	69	1ヶ月	配達が終わりに車に乗り込むときに道路が冠水しており側溝に落ちた。